

令和6年度 射水市と市内県立高等学校との連携推進事業

新湊高校

「新湊を照らそう」

農林水産課の出前講座を受講して地域の魚や漁業について学んだのち、新湊漁港で水あげされた魚をスケッチ・水墨画で描いた灯籠を制作し、川の駅新湊で展示しました。

「地域の課題を解決！」

2学年普通科の生徒が新湊の魅力や課題について考え、22のグループに分かれて解決に向けて取り組みました。（廃棄野菜を用いた染色・商品化への挑戦、廃油を活用したキャンドル制作、春湊フェスでのホタビー開催、#みらいシテン射水と連携した空き家リノベ情報の発信など）

地域貢献プロジェクト～『地域のつながりを大切に』～

地域の小学生や高齢者向けのパソコン教室を開催しました。商業科の生徒が講師となり、緊張しながらも自分たちが学んできたことを生かし、地域の方々パソコンを学びたいという要望に応えることができました。



小杉高校

美術分野「アート・デザインで考える、新しい小杉駅構想。」

美術分野では、美術やデザインの力で射水市を盛り上げることを考え、小杉駅の駅舎をリニューアルするデザイン構想及び模型制作を行いました。

化学分野の研究

化学の授業で学んだ石鹼の生成反応を活かして石鹼を自ら生成する実験を行い、地域資源を生かした射水市オリジナル石鹼の商品化を提案しました。

射水市政出前講座を受講し取り組む課題研究

1学年の生徒が射水市政出前講座を受講し、その後、講座から得た知見を基に課題研究に取り組みました。射水市の現在の課題や問題点について自発的に調べ、改善策を各自の視点で考察しました。



大門高校

高校生DXプロジェクト（災害の可視化）

ハザードマップの認知度の向上に加え、避難経路の確認の簡易化が防災意識向上に繋がるという仮説を立て、ハザードマップに対応したアプリケーションを作成することと、仮想空間で避難経路を確認して避難を体験することを簡易化させることを目標に研究を行いました。

率先避難を意識した災害時の行動

誰もが自ら率先して危険を避ける行動を起こせるように正しい知識を身に付け、避難意識を向上させるための取組について調査研究を行い、率先避難のポイントをまとめた普及啓発カードを作成しました。

